

## 鳴く虫調査 キーナの森

吉田滋弘 西浦睦子 住田公一郎 住田鈴子 薦田佳郎 高田要 藤井真理  
吉田やよい (人博連携グループ 鳴く虫研究会 きんひばり)

### はじめに

キーナの森は神戸市西区木津地区と北区藍那地区にまたがる64.5haの公園。隣接する「あいな里山公園(国営明石海峡公園神戸地区)」とともに神戸市における「生物多様性保全のシンボル拠点」として整備してきた公園である。今回初めて鳴く虫(コオロギ・キリギリス類)の調査を試みた。

### 調査方法

2019年6/8と9/28の2日間に、現地ボランティアに了解を得た上で夜間調査を行った。18時~20時の間に主園路を歩き、鳴き声の聞き取りによる調査を行った。調査結果を白地図の上に記入した。

結果と考察 9月の観察結果を下図に示す。



6月→2種類(コガタコオロギ、キリギリス)

9月→17種類(カンタン、モリオカメコオロギ、マダラスズ、ミツカドコオロギ、クサヒバリ、ツツレサセコオロギ、シバズ、ハラオカメコオロギ、エンマコオロギ、クマコオロギ、コガタコオロギ、カネタタキ、ヒロバネカンタン、マツムシ、ササキリ、ヤマヤブキリ、ヤブキリ)

奥のエリアは案内者がいればカンタンの名所と言える。駐車場付近はマツムシを聴くのに適している。都市近郊の観察地としては、十分な所であるが、夜間はマムシ等もいるなどしたので、管理者の許可を得ることを含めて、十分な注意が必要である。